

2024~2025年度 地区スローガン

持続可能なロータリーに！ 共に学び、共に行動
Make Rotary Sustainable ! Learn together Act together

2024~2025年度クラブテーマ

ロータリーを楽しみ、人生をエンジョイ

例会日 毎週火曜日 12:30~13:30 例会場 勝山市市民交流センター 〒911-0811 福井県勝山市片瀬町1丁目402番地
TEL 0779-87-7761 FAX 0779-87-7760 URL <http://katsuyamarc.jimdo.co> Email:katsuyamarc@gmail.com
■会長 斎藤清一郎 ■幹事 久保光子 編集発行・文責 公共イメージ委員会

第3060回 例会 (12月17日)

●会長スピーチ

会長 斎藤 清一郎



15日は予期せぬ降雪で、明け方から役所の電話で起こされ、今季初の除雪出動となりました。

今冬初という事と、除雪待機指示がかかっていないこともあって、オペレーターの一人に連絡するのを忘れてしまいました。(通常はLINEで一斉連絡しています。)

終わってから1台出ていないことに気が付く有様でした。

除雪車が出動してから、妻が白菜を漬けるのに米ぬかが欲しいと言っていたので土蔵から持って出ようとしたときにコンクリート製の階段で滑って転倒してしまいました。

運よく肩と太ももからお尻にかけて倒れたので頭を打つこともなくしばらく倒れたままでいた位で済みました。

でも倒れる方向によっては頭を強打して、今日あたりはお通夜で竹内会員に導師に来ていただく事になっていたかもしれません。守護霊が護ってくれたんだと感謝しています。

これからは雪や凍結で滑ることがありますから皆さんもくれぐれも気をつけてください。

●次々年度会長

和田 達也

平成15年7月に入会して21年6か月になります。諸先輩方、皆様から色々な事を教えていただき今に至ると思っています。

皆様に貢献できるよう頑張りたいと思いますのでご協力をお願いいたします。

●幹事報告

幹事 久保 光子

○地区大会のご案内をご確認いただき登録をお願いします。

○例会後理事役員会を開催いたしますのでよろしくお願い致します。

●出席報告

上山 弥一

12月17日	欠席3名	86.96%
12月8日	欠席5名	79.17%

●ニコニコ報告

届出欠席

山内 政司

和田達也・幅田浩司

ゲスト卓話

私の自由研究

村岡小学校6年 藤本 悠花さん



こんにちは。村岡小学校6年の藤本悠花です。今日は3年生から6年生までの4年間やってきた自由研究についてお話ししたいと思います。

私は5歳の時に貝殻を拾って以来、貝殻が大好きになり、月に1回くらいビーチコーミングに出かけています。これまでに60回以上ビーチコーミングをしてきました。

ビーチコーミングとは、浜辺などに打ち上げられた漂着物を収集したり、観察したりすることです。

髪をくしでとかすように浜辺を歩く事から名づけられたそうです。私はこの写真のように中腰で採集するので腰が痛くなります。しかも海岸によってはこの姿勢で3時間以上歩くので、本当に疲れます。

また、小さくて細かい貝殻もあるのでしゃがみこんで目を凝らして探しています。



本日 プログラム	会員卓話 富士根会員	12月28日 プログラム	休会	1月7日 プログラム	新年例会	1月14日 プログラム	ゲスト卓話 山田雄造氏
-------------	---------------	-----------------	----	---------------	------	----------------	----------------

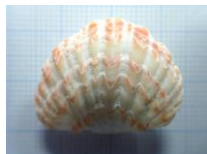
これまでの自由研究ではこうしたビーチコーミングで回収したものをまとめることを中心にやってきました。

ビーチコーミングで採集できるものは貝殻、石、ウニ殻、シーグラス、流木、ヒトデ、おもちゃ、浮きなどがあります。このほかに、かたつむりの殻や、サメの歯などもよく拾えます。私が、ビーチコーミングで採集しているものは、貝殻、ウニ殻、石、シーグラスです。

福井県沖に生息するウニは23種とされています。このうち私が採集したことがあるウニ殻は8種類で、採集した海岸の数でわけると、バフンウニやムラサキウニが採集しやすいことがわかります。バフンウニは、日本三大珍味のひとつである越前の「塩ウニ」の材料です。福井県沖ではこのバフンウニがたくさん生息していることがわかります。ちなみに、ウニがらはとても割れやすいので、きれいな形のものは結構少なめです。また、内側から光をあてると模様が浮かび上がってとてもきれいです。

この中で、貝はどれでしょう？

①タテスジホオズキガイ ②モミジガイ ③ウスヒザラガイ



タテスジホオズキガイは貝に似ていますが、腕足類（わんそくるい）という海に住む無脊椎動物に属するので生きた化石とも呼ばれています。二枚貝の殻は体の左右に1枚ずつですが、腕足類は腹と背に1枚ずつ、つく形となっています。また、モミジガイは写真を見るとおわかりいただけたと思いますがヒトデです。ウスヒザラガイはダンゴムシに似ていてちょっと気持ち悪いかもかもしれませんが、こちらは立派な貝になります。ウスヒザラガイはその見た目から貝だと思わない人も多いです。

22カ所の海岸で私が採集したシーグラスは全部で767個です。その種別は水色や透明のシーグラスが採集しやすく、ピンク色はレアです。ちなみに黄色や赤色も拾ったことがあります。1色ではないものは私は拾ったことがありません。



ビーチコーミングで石を集める人も多いです。そのなかでも、メノウは人気がある石です。どれがメノウかわかりますか？①のヒスイは新潟県の糸魚川周辺でしか採集できません。③のメノウはよく見ると、細かな線が入っています。どの石も光を当てると光を通します。

①ヒスイ ②玉髄（ぎょくずい） ③メノウ



では3年生、4年生に調べたことについて説明します。

令和3年の3年生にした自由研究では、福井市の鷹巣海水浴場で採集したウニ殻、令和4年の4年生の時は同じく鷹巣海水浴場で採集した貝殻についてまとめました。

1回のビーチコーミングで採集できるウニ殻の採集数と種類数を季節ごとにわけた結果、春と秋が採集数、種類数ともに多いことがわかりました。

続いて1回のビーチコーミングで採集できる貝殻の採集数と種類数を季節ごとにわけた結果、春が一番たくさん採集できて、種類も豊富であることがわかりました。

みなさんもビーチコーミングしに春の海岸にぜひ出かけてみてください。

春がビーチコーミングがおすすめの季節ですが、では春の中でも、一番貝殻が採集できるのは4月が採集数も種類数も多いことがわかりました。4月が採集に一番向いている理由はまだ謎ですが、貝は生き物で春は産卵シーズンです。生き物の中には子孫を残すと死んでしまうものも多くいます。こうした生き物としての貝の一生が関係している可能性が考えられます。

4月が採集に一番むいていることがわかったので、次は4月に採集するならこの海岸がどうかを調べてみることにしました。令和5年、5年生の時は嶺北の10カ所の海岸をまわって採集を行い、今年令和6年は嶺南の12カ所の海岸をまわって採集を行いました。

ここで私がどんな感じで自由研究をしているかをお話ししますと、

1. 採集（ビーチコーミング）
2. 洗浄・乾燥
3. 種類分け・名前調べ
4. 種類別の一覧表やグラフ作り
5. まとめ

こんな流れになります。洗浄・乾燥の時は、別の海岸や別の日に採集してきたものと混ざらないように気をつけています。また貝殻の名前をしらべるのに「日本近海産貝類図鑑」という厚さ8センチの図鑑を使っています。日本で一番貝の種類がのっているものです。これは3年生のクリスマスにサンタさんから送ってもらったプレゼントで、なんと41800円もするものです。

これは、私が5年生の4月に調べた嶺北地方の海岸No.1 決定戦で分かった結果です。

ビーチコーミングの海岸別の結果、貝殻の採集数は1位は浜地で、2位は鷹巣でした。種類数も同じく1位が浜地で、2位は鷹巣でした。ウニ殻の採集数1位が浜地、2位越廼、種類数では1位越廼、2位鷹巣です。メノウについては、また浜地、鷹巣が上位にきています。シーグラスは採集数、種類数ともに鷹巣が1位です。

私は、嶺北地方の海岸で鷹巣をおすすめとしました。

6年生の4月に嶺南地方で行ったビーチコーミングの結果はこのようになりました。

貝殻の採集数は1位は塩浜で、2位は若宮でした。逆に種類数は、1位が若宮で、2位は塩浜でした。

嶺南地方では、メノウを採集できたのは高浜町宮尾だけで、シーグラスについても採集数も種類数も宮尾が一番多かったです。

メノウやシーグラスが多く採集できる海岸では、貝殻やウニ殻はあまり多くありませんでした。このため、貝殻もウニ殻も一番多い種類が採集できた若宮をおすすめNo.1に選びました。嶺南地方では、駐車場が有料のところも多く、春はあいていないことも多かったので、駐車場がわかりやすい若宮がおすすめです。

今日は、私の発表を聞いて下さり、ありがとうございました。